



## NPO PTPL “ともいき” 便り No.79

平成 27 年（2015 年）7 月 7 日発行

### ■小暑（しょうしょ） 7 月 7 日から 7 月 22 日までの節気

#### ◆七夕

七夕の行事にはいくつかの流れがあり、それらが複合して七夕の習慣ができあがったと考えられます。

一つは牽牛星（けんぎゅうせい）と織女星（しょくじょせい）の星祭の伝説と乞巧奠（きこうでん）の行事です。どちらも中国から伝わってきたものです。

星祭は牽牛星と織女星が年に一度、天の川をはさんで出会うというロマンティックな伝説です。この相会する日が 7 月 7 日であるとして、星を祭る行事となりました。

※乞巧奠とは、陰暦 7 月 7 日の行事。女子が手芸・裁縫などの上達を祈ったもの。もともと中国の行事で、日本でも奈良時代、宮中の節会（せちえ）としてとり入れられ、在来の棚機女（たなばたつめ）の伝説や被えの行事と結びつき、民間にも普及して現在の七夕行事となったようです。

現在、東京では 7 月 7 日に行うが、地方によっては一月遅れの 8 月 7 日に行う所もあります。

皆さんお気づきと思いますが、新暦（現行カレンダー）の 7 月 7 日は日本では梅雨の真っ最中で、この星祭を見る確率はグーンと低くなります。

これは明治の改暦で約 1 ヶ月ずれたことが原因です。ですから七夕は旧七夕（今年新暦の 8 月 20 日）の日が良いのではないかと考えます。

ちなみに、青森の「ねぶた祭り」や秋田の「竿灯」も七夕祭の一つです。

#### ◆小暑の節気には多くの年中行事が行われます。

◎東京入谷：朝顔市（7 月 6 日～7 月 8 日）

入谷の鬼子母神で知られる東京都台東区下谷、真源寺に立つ朝顔市は江戸っ子の心の古里でもあります。

現在でも約 200 軒もの露天が出て賑わい、東京下町の夏の風物詩となっています。

◎東京浅草観音・ほおずき市（7月9日～7月10日）

古くから朝顔市と共に夏の風物詩として下町の人々に親しまれてきました。浴衣着姿でうちわを片手に娘さんたちが、ほおずきを買い求める風景は、さわやかで風情があります。

◎四万六千日（しまんろくせんにち・7月10日）

寺の縁日のひとつで、千日詣・千日参とも言います。

一般的には7月10日の観世音菩薩の縁日（功德日）のこととされますがその由来はわかっていません。

この日、参詣した人は四万六千日参詣したと同じご利益や功德があると言われます。

◎草の市（7月12日）

東京各地で、例年お盆に使う飾り物や盆踊り用品などを売る市が開かれます。古くは13日早朝が盛んでしたが、次第に12日の夜が賑わうようになりました。この夜は町中に早い秋の草や花が積まれ、昔の武蔵野の風情を思い出すところから、いつしか「草の市」と呼ぶようになりました。

◎盂蘭盆会

7月15日を中心に行われる先祖の霊を祀る仏事。7月13日から16日（地域によっては8月13日から8月16日）の間に、先祖の霊を迎え、もてなし送るまでの諸行事をいいます。

※各年中行事の詳細は「ともいき暦」をご覧ください。

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2015/>

◆自然に親しむ運動（7月21日～8月20日）

全国の自然公園や景勝地、身近な地域で、自然に親しむことを通して心身の健康を増進し、自然に対する科学的興味と理解を養ってもらうこと、あわせて自然保護および国土美化の精神を高めることを趣旨として、1950年（昭和25年）厚生省（現厚生労働省）の呼びかけで都道府県および財団法人国立公園協会の主催によって始められました。現在は環境省が主催しています。

「自然に親しむ運動」の初日、7月21日は「自然公園の日」となっています。

蒸し暑さ厳しいおりですが、梅雨の合間の天気の良い日には職場やお住まいの近所の公園などに出かけ、木陰で豊かな緑の葉を觀賞しながら、のんびり過ごすのもいいですね。

佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局)

## ■ ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼是

### いまの時代を考える。

人間が物質文明を追求した 20 世紀。あくなき経済・科学・技術の進歩、発展、成長の代償に、いま自然環境の破壊・荒廃、そして人間の精神的荒廃という現実直面しています。自然の神秘に瞠目し、畏怖・畏敬の念を忘れず、人間は自然の一部であり、活かされて生きていることに深く感謝し、「おかげさま」の念を持って 21 世紀を“自然と共生・親和・融和”、“人間の精神性の復活”という新しい思想・倫理・哲学の世紀にしたいものです。

言い替えれば、いままでの“物質中心主義”“経済中心主義”の時代から“精神中心主義”“生命中心主義”の時代への転換ということではないでしょうか。

このような世界観をわれわれが持たない限り、今日の、そして将来の地球を取り巻く深刻な広い意味での環境問題は解決できないでしょう。

落ちついて考えてみてください。祖先が育み、先達が培ってきた日本人の生きる知恵、生活の知恵である共に生きる“ともいき”の自然観、生命観と、共に生み出す“ともうみ”の創造力、生産力と、共に幸に生きる“ともさち”の倫理観、価値観がとても大切な時代なのです。

自分の利益を守るためには手段を選ばない、「自分さえよければ」という極端な利己主義が蔓延しています。「さもし根性」の人が多くなってきているのでしょう。とてもギスギスした世の中になっています。

日本人を取り戻すためには先達たちの生きる知恵、生活の知恵をもう一度よく考え、見つけ直すことが大切です。

“もっと、もっと”という世界観から“少欲知足”の新しい世界観、われわれの精神面での成長が課題です。

● ジャパネスクサイトの「ジャパネスク語り」No58 の図面を拡大し、ジャパネスクという大きな流れについて考えてください。

<http://japanesque.tokyo/katari.html>



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

- 6月末、東北地方も梅雨入りしたと気象庁が発表、平年より2週間も遅れた梅雨入りでした。

日本各地で震度2～3の地震、火山性微動、小規模な火山噴火、局地的集中豪雨、雷、突風、竜巻などの自然災害、地すべりなどの二次自然被害も続いています。皆さまくれぐれも災害には細心の注意をおはらいただき、災害から身をお守りください。

- NPO PTPL 理事のすとうあさえさんが進行役の『すとうあさえのともいき歴』（全国32局ネット）がスタートしました。ジャパンエフエムネットワークという北海道から沖縄まで結ぶFMラジオの全国ネットワーク局でオンエアーされています。毎月第3週、4週 水曜日午前5:30から30分（一部地域25分）の放送です。朝早い番組ですが、是非、お聴き下さい。なお、首都圏ならびに大阪圏の一部ではオンエアーされませんので、ご了承ください。

ジャパンエフエムネットワークのサイトです。 <http://www.jfn.jp/>

●会員募集のご案内

NPO活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPLでは、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@plantatree.gr.jp